

平成 28 年度 第 1 回魚沼市子ども・子育て会議 会議録

1. 日時	平成 28 年 6 月 22 日 (水) 10:00～11:40					
2. 会場	魚沼市中央公民館 2階 中ホール					
3. 出席者 (敬称略)	魚沼市子ども・子育て会議					
	役 職	氏 名	出 欠	役 職	氏 名	出 欠
	会 長	種村 啓子	○	委 員	羽鳥 敦子	○
	副会長	橘 恵子	○	〃	星 弘子	欠
	委 員	野沢 香苗	欠	〃	星 智裕	欠
	〃	重野 育子	○	〃	梅井 美子	欠
	〃	高橋かおり	欠	〃	岡部ひとみ	○
	〃	桑原 郁夫	○	〃	峰川ともみ	○
	〃	今井 久子	○	〃	木多富士子	欠
	〃	山本 都子	欠			
	魚 沼 市					
	魚沼市子ども・子育て会議事務局 (教育委員会)					
	・教育長：星 勉		・教育次長：森山正昭			
	・子ども課長：吉澤国明		・保育園幼稚園係：森山丈順、吉田 浩			
4. 資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 1 平成 28 年度子ども課新規事業・制度改正事業等 ・資料 2 魚沼市子ども・子育て支援事業計画平成 28 年度事業評価項目 					
5. 会議概要 事務局	<p>只今から平成 28 年度第 1 回子ども子育て会議を開会する。</p> <p>会長選出までの間、子ども課長吉澤が進行させていただく。よろしく願いしたい。</p> <p>昨年度末で退任された委員の後任として、委員をお引受けいただいた皆様、公私共にお忙しいところをご快諾いただき感謝申し上げます。</p> <p>それでは次第に沿って進めさせていただく。はじめに星教育長からごあいさつ申し上げます。</p>					
教育長	<p>みなさんおはようございます。暑い日が続いていますが、体調に留意して夏を乗り切っていただきたいと思う。</p> <p>さて、この子ども・子育て会議については、子ども・子育て支援法に基づいて設置が義務付けられているもので、今年で 4 年目になる。平成 25 年度から子ども・子育て支援事業計画の策定について協力いただいた。昨年については、色々なことについて議論をいただいた。保育園の民営化についてもその一つ。保育園の民営化は様々な自治体で試みが進められている。本市では長い間公立の保育園としての運営が続いていることから、良い点があるといっても、市民の理解が必要であると考え、</p>					

事務局	<p>そのことをクリアするために慎重に進めていくこととしている。</p> <p>今年度も色々なことを皆さんから議論していただくこととしている。魚沼市の子ども・子育て計画が良いものになるようにしていきたいと思っている。本日はよろしくお願ひしたい。</p> <p>今回から委員として加わっていただいた方には机の上に委任状をお配りしてある。本来なら市長からお渡しすべきところだが、ご容赦いただきたい。</p> <p>新任の委員の任期については、子ども・子育て会議条例に基づいて平成 29 年 3 月 31 日までの任期となっているので、ご了承願う。</p> <p>次第 2 委員及び事務局紹介ということで、資料として名簿をお配りしてあるので、そちらを見ていただきたい。委員の名簿の上から順に自己紹介をお願いしたい。</p> <p>【委員、順に自己紹介】</p> <p>【事務局、順に自己紹介】</p>
事務局	<p>本日は 8 名の委員から出席をいただいている。15 名の委員の過半数の出席があるので、会議が成立していることを報告させていただく。なお、本会議については、議事を公表させていただくとともに、議事録作成のため録音をさせていただくのであらかじめご了解いただきたい。</p> <p>なお、本日の終了時刻は 11 時 30 分としている。</p> <p>次に議題 3 会長の選任に進みます。</p> <p>子ども・子育て会議条例第 5 条第 1 項において、魚沼市子ども・子育て会議には会長及び副会長を置くこととされており、会長及び副会長は委員の中から互選することとされている。前任の中山会長が退任され、会長が空席となっていることから、まずは会長の選出をお願いしたい。互選の方法について、いかが取り扱ったらよいかお諮りしたい。</p> <p>(事務局一任の声)</p>
事務局	<p>事務局一任という声があったので、事務局案を申し上げる。種村委員を会長として推薦したい。</p> <p>(異議なしの声、拍手)</p>
事務局	<p>それでは種村委員、会長席にご移動をお願いします。会長からごあいさつをいただき、議事を進めていただきたい。</p>
会長	<p>会長に選任いただきました、小出小学校校長種村です。小出小学校に赴任して 2 年目となる。魚沼市での勤務は初めてなので、魚沼市の状況について不勉強ではあ</p>

	<p>るが、小出小学校に参りまして、地域の力、保護者の力、魚沼市全体の力、様々な素晴らしい人が関わりながら力をあわせて子育てを行っているということを実感している。学校の立場からではあるが、何かお役に立てればと思うし、皆さんのお力をお借りして1年間務めさせていただきたいと思う。</p>
事務局	<p>5 議事 においては会長の進行により議事を進めていただきたい。会長お願いします。</p>
(会長)	<p>(以降は、子ども子育て条例により会長が議長となり進行)</p>
議長	<p>では早速議事に入りたい。 (1)平成28年度子ども・子育て施策について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>(資料に沿って説明)</p>
議長	<p>質問やご意見があればご発言いただきたい。</p>
委員	<p>資料の中に「湯之谷小学校」という表記があるが、現在は井口小学校という名称だと思っている。名称は皆さんから希望を取って決まったという話は聞いているが、もうここで湯之谷小学校という表現を出す理由があるか。それとももう変わっているのか。お聞かせいただきたい。</p>
教育長	<p>私からお答えさせていただく。井口小学校の建替えにあたっての名称に関しては、新しい校名委員会を組織して検討を進めた。そこではメンバーとして保護者が多かったのだが、引き続き井口小学校とする方向で方針がまとまって教育委員会に答申をいただいた。ところが、その後、区長等から疑義が出され、色んな調整をして、最終的には全世帯にアンケートを実施することになった。その結果、湯之谷小学校が圧倒的多数となり、教育委員会としては新しい校名を湯之谷小学校とすることに決まった。去年の12月だったと思う。名称を変更する場合は条例を改正する必要があるが、既に条例改正の手続きを終えているが、適用は平成29年4月1日からとしている。現在の校舎では井口小学校で、新しいところに移った段階で湯之谷小学校となるということである。ここでは湯之谷小学校とすることで紛れがないと思う。</p>
委員	<p>入広瀬幼稚園から入広瀬保育室ということで、以前入広瀬幼稚園がすもんこども園に移るような話を聞いていたが、住民の方はまだ十分に知らされておらず戸惑っているというお話を聞いたのだが、今は休止状態で利用者がいないということはどういう風になっているのかお聞きしたいのと、小出病院での病児病後児保育の利用がないという説明だったが、うちの幼稚園で利用した方の話を聞いているので、利</p>

事務局	<p>用はだいぶ始まっているのではないかと思っている。お願いします。</p> <p>まず入広瀬幼稚園の件だが、すもんこども園に統合するという話ではなく、入広瀬幼稚園は存続するということであつたが、結果的に平成 28 年度に幼稚園を利用する子どもがいなくなったため、形としては休園としているところ。また、入広瀬幼稚園の園舎を利用して主に未満児を預かる保育室を設置したが、現時点で利用者がいない。</p> <p>結果として、幼稚園も保育室も利用する児童がいないということで、幼稚園は休園、保育室は希望があれば実施するという状況である。</p> <p>病児病後児保育については、利用があることは承知していたが、具体的な数字を把握していなかったので、今回お示しすべきだったものと反省している。</p>
議長	<p>入広瀬幼稚園は現在休園、保育室は開設しているが利用がないということですね。</p>
委員	<p>ということは、入広瀬保育室に職員は待機しているか。明日からでも希望があれば受入できるか。</p> <p>そして、このまま休止状態が続いたらどのようなになるか。</p>
事務局	<p>入広瀬保育室については、明日からでも受入ができるように職員が待機しているかという、そうではない。希望があつたときに体制を整えるということ。そういう意味では待機をしているといえる。このまま利用がない場合についてだが、子どもが小さいうちは自宅近くで保育を受けることが望ましいということで開設することとしたが、結果的に利用希望がなかつた。ただ、考え方としては小さいうちは自分の家に近いところで保育をするということで、保育室を続けたいと考えているが、家庭的保育や色々な制度を組み合わせ対応していきたいと考えている。子どもの数自体は減ってきている地域でもあるので、そのこともあわせて検討は今後も必要になっていると思うが、現時点では今後も続ける予定である。</p>
委員	<p>今後も続けるということだが、人数も多くないということであれば、小規模保育とか、ということになるのか。それとも入広瀬保育室ということで大きい保育室を残すことになるのか。民営化の話も出ている。小さいうちは地域でということも分かるが、民営化とか、魚沼市一つでということでも会議の中で議論を進めてきたところで、それと矛盾するのではないか。</p>
事務局	<p>民営化の話自体は検討途中ということもあるので、全体の中で考えていく必要がある。</p> <p>他の子ども・子育て支援制度における新しい制度も出来ているので、全体的に考え合わせながら考えていく必要があると思う。今のところ民営化の話と考え合わせるには、検討の途中ということもあるので、申し訳ないが今のところその程度のお答えしか出来</p>

	ない。引き続き検討していくことになる。
委員	保育士は待機しているがすぐには難しいということだが、保育士がだいぶ少ない状況の中で、はたして希望があつてすぐに対応することができるのか不安がある。地域の方がお願いされたらすぐに対応できなければいけないと思うがどうか。
教育長	すもんこども園との連携について、はっきり説明されたい。
事務局	すもんこども園に副園長を2人配置している。これは入広瀬保育室に対応するためである。そこからの手当てができると考えている。
議長	入広瀬保育室については、開設しているが利用はない、ニーズがあればすぐに対応できる、すもんこども園とのかかわりにおいて手当てすることができるということだった。 また、民営化とのかかわりもあるということなので、今後の検討の中で手当てしていく部分もあるということである。 まだ質問はあるか。よろしいか。 では次にご意見があればご発言いただきたいと思う。
教育長	先ほど事務局の説明で少し抜けている部分があつたので補足したい。 入広瀬保育室は原則として未満児対象。3歳児以上については、すもんこども園をご利用いただくということだったので、入広瀬幼稚園を休園にしたということである。
委員	人数は希望があれば何人でも引き受けるのか。
教育長	何人でも引き受けるが、何人もの希望があるとは思っていない。5人以内程度いてくれたらと期待していた。平成28年度に入ってから利用するという話も出ていたが、今のところは利用希望がない状況である。
委員	たった一人でも保育室は開くのか。
教育長	そのつもりでいる。
委員	短期間でもOKか。出産の際に利用するなど。
事務局	様々な考え方がケースによってあるが、一時預かりについてはだいぶ整っているの で、その点と見合わせながらになるだろう。私たちも入広瀬の保育室で保育を行うことが適切なのかということを検討させていただきたい。希望が出た段階で考えてみよう

	<p>思う。今想定しているのは、ある程度長い期間で未満児数人をお預かりするということになる。</p>
委員	<p>子ども・子育て支援の中に「子どもの最善の利益」という考え方が示されているが、一人で保育をうけるということになり、親御さんが良ければそれで良いのでだろうが、子どもの将来的な育ちのことを考えるとやや不安があるのではないかと思う。前回の会議の際に少ない人数について意見が出されていた。少人数での保育でよいのだろうか。</p>
次長	<p>基本的に、保育園と入広瀬保育室の小規模保育とは住み分けをしていく必要がある。小規模保育は新しい制度として保育のやり方によって1人から5人と6人から19人というように分けられており、家庭的保育とした場合、5人までしか受けられないので、ある程度少人数による未満児保育のニーズはあるものと思う。</p> <p>魚沼市だけの取組ではなく、全国一律の制度なので、全国的にはそういうニーズがあるものと思っている。</p>
委員	<p>ということは、小規模保育か家庭的保育で実施するということか。</p>
次長	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>病児病後児保育の利用料はいくらか。</p>
委員	<p>給食はなくて、お弁当、おやつ持参が必要、料金は一律で、何時間いても同じ金額とのこと。</p>
次長	<p>料金は1日1,200円となっている。</p>
委員	<p>何時から開始して、利用料とかは市報に載っていて皆さん知っているか。</p>
委員	<p>市報に載っていたはず。</p>
委員	<p>なかなか市報を見ない。</p> <p>見ない人が悪いということではないと思うが、自分に関わりのないところはあまり読まない人が多い。</p>
教育長	<p>ホームページにも載っている。</p>
次長	<p>PRについては、市報はもちろんだが、保育園や病院など、必要とされる皆さんが行かれるところにはチラシや申込書を設置させていただいている。周知の方法についてご</p>

	意見をいただければ検討したい。
委員	保育園や幼稚園の入園式のときに、説明をしていると思う。めぐみ幼稚園でも説明した。
次長	私どもはPRがうまくないので、「こういうやり方が良い」ということがあれば教えて欲しい。
委員	保育園を使っている方でこの場にいる方は重野さんだけなので、伝わっていないということであれば、何らかの対応が必要だと思う。
委員	私は預けるのではなく、できれば仕事を休みたいと思っている。
委員	PRの方法として、市報やホームページはもちろんだが、お母さん方が普段行かれる場所、図書館とかスーパーでお知らせすることで、自然に目に入って行くのではないだろうか。 市報は時間がなくて見れないとか、見落としてしまうようなケースもある。 原信さんや良食さんなどにポスターなどを貼ってもらえば、目に付く、気に留めてもらえる一つの方法だと思う。
委員	市ではメール配信のシステムがあって、私たちが市をとおして保護者の方にメール配信することができる。PRの方法としては良いのではないか。年に数回程度、利用状況や利用者の声などを周知すれば、利用促進につながるものと思う。
議長	ありがとうございます。ニーズがあって立ち上げた事業なので、よくPRをして、大いに利用いただくことが子育て支援につながるものと思う。PRの方法についてもご提案いただいた。
委員	説明のあった内容とあまり関係ないのだが、学校教育課学務班にひきこもり対策担当を置くということを見かけたのだが、小学校以上だけではなく、幼児期から育ちとか親子関係とか、色んな影響が関係してくると思う。小さいうちからの関係性で対応することで効果があるのではないか。
次長	これまで担当がはっきりしていなかった。小中学校の不登校からひきこもりにつながる問題であると考えており、義務教育終了後も対応する必要がある。中1ギャップと呼ばれる問題もある。今年から学校教育課に担当を置いた。学校教育課では義務教育が終わると手が離れるが、このことについては義務教育が終わってもずっと担当していくこととしている。ひきこもりの実態を把握できていないため、今年度の仕事としては、ま

委員	<p>ずは、ひきこもりの方がどのくらいおられるか、どういう理由なのかなどについて手がかりをつかむことである。</p> <p>現状把握については、接触や回答を拒否されるようなことも想定されることから、時間がかかるものと思っている。</p> <p>保育園や幼稚園でできることも今後この会議であげてみんなで協力して対応していきたい。魚沼の子は魚沼で暖かい手で育てるという考えで、何かあれば声を掛けてもらいたい。</p>
議長	<p>次に、(2)魚沼市子ども・子育て支援事業計画の評価項目について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料に基づき説明)</p>
委員	<p>今ほどの説明でご不明な点や確認したい点がありましたらお願いします。</p>
委員	<p>6-3 のつくしプレイ教室、ステップアップ教室とその次の支援ファイルの活用について質問させていただく。5月に療育関係の説明会があつて参加させていただいた際に、説明者の話ではつくしプレイなどでは支援ファイルの活用をあまり勧めていないような話だった。それでは、保育園や幼稚園で支援ファイルを活用していくことは難しい。療育の入り口はつくしプレイ教室になるわけなのでそこでよく説明をしたほうがよいのではないかと。担当者も異動してきたばかりのようで何もわかっていないようだった。ちょっとショックを受けた。引継ぎをうまくしてもらいたい。増刷はするが利用がないではお金の無駄になる。</p>
事務局	<p>私もその研修会に参加した。相談ファイルについては障害福祉担当とわれわれ保育、療育相談の間で引継ぎにギャップがあるようで、うまくなかった。会議の際の説明は当然として、そもそもの取扱いについてはもっと活用する方法が有効になるように障害福祉担当ともまた相談していきたいと思っている。</p>
委員	<p>今話を聞いてすごいびっくり、ちょっとショックを受けた。支援ファイルを立ち上げる時も、今はいらなくても将来必要になる可能性がある、様々な使い方ができる、と説明を受けた。小出支援学校を選ぶか豊学校を選ぶかという時にもあちこちで同じ説明をしなくてもいいんだ、というように言われた。今話を聞いて、過去の話は何だったの、と思った。作って進めていこうという気持ちがあるなら、担当者が変わって対応が変わるのはおかしい。実際に、障害年金の手続きに役立った。自分で記入することが大変なら、もらったものをまとめてつづっておくだけでもいい。今は子育てで手一杯なのはよく分かる。だからこそ支援ファイルの必要性をしっかりと説明してもらいたい。</p>

事務局	<p>まさに生みの苦しみのときの話をお聞かせいただき大変参考になった。もらったものを入れておくだけでよいということより、こんなに書かなければいけないのかと思ってしまう。つくしプレイの段階で境界ではっきりしない方などは受け取りを拒否されるケースもあると聞く。事業がスタートして課題が出てきているので、今のご発言のような想いを担当者がよく考えて、次につなげていく時期に入っているものと思う。</p>
委員	<p>そもそもつくしプレイ教室は療育なので、そこで支援ファイルの活用を進めていけばよい。子育てメモとしても励みになるはずなので、記録ノートとして活用するよう勧めてはどうか。ノートが分厚く大変そうだと敬遠されるのであれば、それを工夫、改善するのが仕事であろう。ファイルを使って喜びが沸くようなものにしてもらいたい。一人一人の子どもが認められて育っていくことが魚沼の将来につながっていく。</p>
議長	<p>支援ファイルについては、皆さんから大切にしていきたいとのご発言をいただいた。改善すべき点があれば改善していただきたい。ステップアップ教室に関連する記録は大切との話もあった。子どもを支えていくということは、どんな小さなことでも見逃さずに、その子のよさを捉えていくということだと思し、それを振り返って見れるということも大切なこと。</p>
委員	<p>3-7のファミリーサポートセンター事業については、依頼者が多くて提供者が少ないようだが、何か理由があるか。</p>
事務局	<p>ファミリーサポートセンターについては、一般的にいわれるのは使い勝手が悪いということ。提供したいという方はいても、時間的なことなどからなかなか依頼しにくいということがある。裏を返すと、その他の事業の利便性が向上しており、そちらで対応できている部分が多いということになる。</p>
委員	<p>依頼は多くて、提供が少ない理由は。</p>
事務局	<p>依頼は実際に依頼があった件数ではなくて、登録した方の数になる。</p>
委員	<p>なぜ提供会員の数が少ないのか。</p>
副会長	<p>以前、提供会員として登録して欲しいと言われたが、自分の家でお預かりする場合に小さい子どもにとって安全な場所であるとは言いがたい。子ども達にとって安全な空間であることが必要。自宅には年寄りもいる。また、提供会員をしていたある人から聞いた中では依頼は1年に1回あるかないかで、その1回についても、その日の都合が悪くて断らなければいけないこともある。使い勝手がいいものではないようだ。一時預かり</p>

	<p>もあるし、預かってもらえる友達もいるだろうから、そうするとファミリーサポートセンター事業は最終手段にならざるを得ない。</p>
委員	<p>素人で何も分からず発言して申し訳ないが、基本的には少子高齢化で地域に高齢者はたくさんいるわけなので、登録している方が多ければ、いろんなことができそうだ。魚沼市としての検討ができるのではないだろうか。</p>
事務局	<p>ファミリーサポートセンター事業の改善は必要である。その一方で、一時預かり事業などについても充実させていく必要がある。ファミリーサポートセンター事業の改善も必要だが、先ほど副会長から発言があったように、他の事業を優先的に利用していく部分はある。両方していかないといけないと思っている。</p>
委員	<p>地域にどういう人がいるかわかならと思うが、子育てをしている親御さんの負担をいかに減らしていくかということを考えていかなければならない。</p>
教育長	<p>そもそも改善できるのか。ファミリーサポートセンター事業については、もともと使い勝手が悪い事業であってその改善は難しい。多くの提供会員から登録していただく必要はある。</p>
委員	<p>使い勝手が悪い制度は変えればよい。変えようとしなないことは良くない。</p>
教育長	<p>制度上変えることが出来ない部分もあることは承知してもらいたい。</p>
委員	<p>少子高齢化が進んでいる中で、若いおじいちゃんやおばあちゃんは多い。働きたくないという人もいるだろうし、ちょっとは役に立ちたいという人もいる。自宅に安全な空間が確保できないのであれば、保育園の空き教室があるはずなので、そこを利用してはどうか。色々なことが出来そうな気がする。お年寄りもお茶のみ仲間が集まる場所ができる。</p>
教育長	<p>ファミリーサポートセンター事業は、提供会員が少ないと都合がつく日が少なくなり、利用者にとって不便である。提供会員を増やすことが出来れば改善できる部分もある。</p>
委員	<p>昨年から参加させてもらっている。いつも会議をやったということが記録に残っているだけで、何か分科会みたいなことをしなければ、計画書が良くなるだけで、お母さん方により支援とか改善するようなことをここで話をしてもできないと思っている。さっきの今井さんの話もそうだが、年度末に事業を評価をしても何も変わらない。言わないようにしようと思っていたが一言言わせて欲しい。事業計画を評価しても良い方向に変</p>

	<p>わることはない。ファミサポの依頼会員だったこともある。ファミサポはいろんなことができる。読み込んでいくと、魚沼市の田舎にとってとっても必要なことができる。</p> <p>「やってます」という事実だけがホームページに載っているだけで、お母さん方にとって役になっているかどうか。1時間半の会議では何も変わらない。変えようと思うのであればもう少し違うやり方が必要。任意の会議と聞いた。でも魚沼市としてはやりますよ、ということだけで会議をやった事実だけが積み上がっていく。そうじゃなくて、改善が出来るところもたくさんあると思う。ファミサポについても、毎年更新する時に退会届も一緒に送られてくる。おかしいのではないかと思った。</p> <p>出来ないことはないと思うので、項目を挙げて評価するだけではなくて、もう少し時間を割いて子育てについて考えていかないとこのまま変わらないし、年度末になってまたこれを配って評価、はい終わりました、ということになる。今井さんの発言からそのように感じた。出来ないではなくて、じゃあこうしましょうとか、細かい部分でそういう検討ができれば良いと思う。</p>
事務局	<p>子ども・子育て会議に限らず、各種の審議会は、そもそも市が聞きたいこととお聞きする会議なので、ご指摘のようになりがちである。この会議はそれぞれの分野の代表の方からお集まりいただいているので、掘り下げて検討すべき事案については、別の機会でのお話になると思う。この会で特定の案件を掘り下げていくことはなかなか難しい。</p>
委員	<p>昨年も同じ事を言われた。</p>
委員	<p>少子化への対応については、子ども達をどのように育てたいかということが大切。それによって何をしなければならないかということが出てくる。色んな意見を出し合って検討しなければダメ。魚沼の子どもをしっかりと育てて行きたい。保育園のことなども今色々と言われているが保育園を増やしてもダメ。少子化対策の担当部署も出席いただいた中で検討が出来ればよい。企業での働き方などを含め、色々なことを全体で考えていかないとこの問題は解決しない。そうしないと魚沼に魅力を感じなくて、育った子どもが魚沼に戻ってこない。やはり私たちが輝いて、大人が、年寄りが輝いていて、魚沼って楽しいよね、という熱気を出していけば魚沼が変わっていくのではないかと、そのために私達も色々な意見を出して行きたい。</p>
委員	<p>保育園の障害児の受入、学童クラブ障害児受入という記載があるが、学童保育を発達障害の児童が利用する場合、職員とかに、親御さんを含め、学校等との3者で話し合う機会は設けているか。入ってきた、思った以上に大変だった、というような後での話し合いではなく、ある程度事前に情報として入れておいて対応できるようにしておくことが必要。また、保育園では聾学校幼稚部の児童が夏休みを中心に保育園を利用するケースがあるが、口話や手話などの職員の状況はどうか。</p>

委員	幼稚園は受け入れている。3年間。夏休みは毎日受け入れを行った。
議長	保育園や学童保育などにおける障害児の受入れについて、事務局お願いします。
事務局	障害の程度にもよりますが、基本的に受け入れており、加配で指導員をつけるなどの対応をしている。学童保育で聾学校の児童の受入希望はこれまでない。受け入れるように体制を整えていこうということ。全てを受け入れることができるかどうかは別ではある。
事務局	学童のことについてですが、発達障害児については、保育園と情報交換を行い、児の状況や支援の内容について情報共有を行うよう努めている。その子にあった支援の仕方について検討している。
事務局	学童保育の支援員については歴史を重ねながら苦勞をしているところであるが、研修の機会を設け、知識の向上を図っていかなければならない状況。魚沼市でも6月12日に全国レベルの研修会に職員を派遣したほか、新潟県内で実施される研修にも派遣する予定である。その他にも、支援員さんの中に自閉症スペクトラムの対応ができる職員も増えてきていて、そういった方には給料的に優遇させていただいている。今言われたようなご指摘を参考に考えていきたい。
議長	<p>本当に活発にご意見を交わされて本当にびっくりした。広い知見から、様々な事柄について、ご意見をいただきたい。諮問機関ということなので、いただいた意見が記録となり、様々な部署に派生して、これが問題提起となって改善につながっていくことになる。</p> <p>予定している時間になった。他にどうしてもご発言したいことがあればお願いしたい。</p>
委員	要望になるが、資料1の中で、保育園の中で学童をやっている、と書かれているが、文言でかかれるとイメージしづらい部分がある。写真やマップを作って欲しいということではないのだが、一覧になっているようなものがあれば分かりやすいので提案させていただく。
議長	<p>たくさんの支援制度があって、それを十分理解しているか、またそれが行き届いているかということが本日の課題になったのかな、というように感じた。次回以降のテーマとしていただければいいのではないかな。</p> <p>これで私の役目は終わりということで、事務局に進行をお返しする。</p>
事務局	ありがとうございました。次回の会議は日程を決めてはいないが、年4回の開催を考

次長	<p>えているので、おおむね3ヵ月後、9月ごろの実施を考えている。その際はまたご連絡させていただきます。最後に教育次長から閉会のあいさつを申し上げる。</p> <p>別の用事で伊米ヶ崎保育園に行って来て遅れてしまった。大変申し訳ない。</p> <p>今回は初めての方も多く、専門用語など分かりづらい部分もあったと思う。だんだんと慣れていただきたい。積極的なご意見をいただいたので、ご発言の趣旨を踏まえ、検討させていただきたい。直ぐにできること、時間がかかることなど色々だが、やり方についていいのか悪いのかということもある。関係する方からご意見をいただきながら進めて行きたい。</p> <p>年間4回の会議を予定している。是非ご出席いただき活発な意見交換をお願いしたい。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
----	---